令和二年度　卒業証書授与式　校長式辞

百七十三名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。今皆さんの手元にある卒業証書は9年間の義務教育の過程を終了したことの証となるものです。義務教育とは、将来自立し、社会の形成者として必要となる基本的な資質を養うことを目的とされています。今、皆さんの手元にある卒業証書は、皆さんが社会人となる基礎は身についたことを示すものとなります。改めて卒業証書の意味や重さを感じてみてください。そして、今日の日が、一緒に過ごしてきた仲間との思い出や、支えてくれた家族のこと、改めて振り返る一日になることを心から願っています。

例年通りとはなりませんが、我孫子市教育委員会教育委員様、本校ＰＴＡ会長様をお迎えし、各家庭1名と制限をさせていただきましたが多くの保護者の方にご臨席を賜り「第四十五回卒業証書授与式」を挙行できますことは私にとって、また、本校職員として、大きな喜びとなっております。本日、ご臨席の方、ご臨席を賜れなかった方、本校の教育活動をご支えいただいたすべての方のご協力と・ご厚情に心から感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、今の気持ちはいかがですか。

「やり切った達成感？」

「別れの寂しさ？」

それとも「やってやるぞという意気込み？」

全部がまじりあった複雑な気持ちかもしれませんね。皆さんが小学校に上がる前の年、東日本大震災がありました。日本の社会が大きく変わっていくきっかけとなりました。そして、昨年からのコロナウイルスは、皆さんの大切な中学校での最後の年を大きく変化させただけでなく、これからの世界が大きく変わるきっかけとなっています。そんな大変な一年間、久寺家中学校のリーダー学年として色々な変化に対応し、立派に久寺家中学校を牽引してくれた卒業生には、私は感謝しかありません。そんな皆さんが生きていくこれからの社会は今年以上に「今までの通り」は成り立たなくなっていきます。今年のように想定外の事への対応や、判断を求められるようになります。正解のないない中で

「あなたはどう考えますか」

「あなたならどう行動しますか」とあなた方自身の意見や行動を求められるようになります。沢山の知識が必要になります。そしてたくさんの情報を整理する能力が求められます。大変な時代です。でも、最後に求められるのは人間性です。知識を使い、整理し発信するのはあなただからです。

私は皆さんに次のステージで二つのことを頑張ってほしいです。

一つ目は本を読むこと

二つ目は人と関わること

特別なことではありません。本を通して色々な世界に触れ、生活の中でたくさんの仲間を作り、青春を謳歌してください。視野を広げ、人間の幅を広げてください。人の意見に耳を傾けられるようになってください。そして、社会に貢献できる人になってください。

卒業生の皆さん、今年一年間たくさんの我慢をし、たくさんの事を一緒に考えてくれてありがとう。君たちの頑張りに報いるためにも私たちも皆さんが卒業した中学校として、誇れる学校であり続けるようにこれからも頑張っていくことを約束します。皆さんの活躍を心から応援しております。ちょっと疲れた時には中学校の空気を吸いに来てください。

終わりに、保護者の皆様に申し上げます。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。教職員一同、微力ではありますが、全力でお子様にかかわって参りました。保護者の方の目には至らない点もあったかと思います。本日まで久寺家中学校の教育にご理解をいただき、ご支援・ご協力賜りましたこと心から感謝申し上げます。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

百七十三名の卒業生の皆様のこれからの活躍を祈念して式辞といたします。

令和三年三月十六日

我孫子市立久寺家中学校
校長　稲村　光男